

創立10周年記念行事 2006年フランス遠征報告レポート

3月27日（第1日目）

早朝5時30分に八王子駅に集合し、そこからマイクロバスで成田空港へ向かう。前日に体調を崩した選手がいたため、スタッフとしてはその選手へのケアと同時にチームへの対策を行いながらの出発となり、始まりから緊張感が漂った。

午前8時成田空港に到着。一路フランスへ出発。12時間のフライトは選手にとってはもちろん初めての経験であった。スタッフにとっても選手の体調を気にかけてながらの長いフライトだった。

フランス時間15時45分パリ・シャルルドゴール空港に到着。空港では今回の遠征のコーディネイターをしてくださる茂木氏・チームに帯同してくれる野口氏に出迎えられ、いざクレールフォンテーヌに。クレールフォンテーヌに到着後夕食をとり、この日は疲れをとるため早めの就寝となった。



INFでの朝食風景

3月28日（第2日目）

午前

昨日の長旅の疲れが少し残る中、9時15分から初のトレーニング開始。滞在期間中のトレーニングは全てクロード・デュソー氏のトレーニングとなる。デュソー氏は元INF校長で、現在JFAのエリートプログラムの特別講師を務めるとても素晴らしいコーチである。今回その方のトレーニングを3日間も受けることができるのはとても有意義なことだと思う。トレーニングは1人1個ボールを扱うボールフィーリングから始まり、2人1組でのパス交換・4対2のパス廻し・その後2対1+GKへと発展していった。トレーニングの中では常にパススピード・ファーストタッチ・ボールを持っていない人の動き、といったところを強調されていた。



トレーニング中の様子

午後

午前同様デュソー氏のトレーニング。行っている内容は普段東京ウエストで行っているトレーニングと変わりはないと思うのだが、選手が意識するまで何回も何回もコーチングしているのはとても印象的だった。選手は外国人コーチの指導を受けるのも初めてということもあり、緊張している感があった。午前と同様に午後も4対2・6人組のパス&ムーブ・2人組みのパス・5対5+GKのゲームでのトレーニングであった。午後はファーストタッチ・パススピードを特に強調したトレーニングとなった。午前のトレーニングで特に改善が必要と感じてのことだと思うが、2人組のパス交換等で特に意識させていた。選手自身がなんのためにフランスまできたのか、もう少し意識してトレーニングに望んで欲しいと感じた。



アーセナル VS ヴェンフィカ、ユヴェントス VS バルセロナ の試合を TV 観戦中

3月29日 (第3日目)

午前

今日はルマンの松井選手に会いに行くため、2時間ほどかけてバス移動した。着いてみるとルマンのプロ選手はトレーニング中だった。選手達は松井選手をみつけると昨日までの疲れた様子は全くなく、食い入るようにトレーニングを観ていた。この後、松井選手そしてルマンの監督との記念写真を撮ってもらえることになり、選手達はもちろん大喜びだった。その後、ルマンのホームスタジアムを見学してから昼食をとった。昼食は松井選手も同席してくださり、食後には全員に快くサインをしてくださったので選手達も大喜びだった。



ルマン所属の松井大輔選手との集合写真



ルマンの監督との集合写真



松井大輔選手との昼食会

午後



サイン会の様子

ルマン 92・91 年生まれとのトレーニングマッチを行った。結果から言えば 2・3 年生両チームともに負けとなってしまった。東京ウエストの特徴でもあるボールを簡単に失わないという事、これをルマンはもっと忠実に行っていた。すごく強いという感じはないの
ができることを忠実におこなっている感じだった。口で何回もいうよりも実際に手合わせして選手自身が感じる事ができて良かったのではないかなと思う。

この後急遽、松井選手が夕食にも来てくれた。選手にとっては本当にいい思い出になったのではないだろうか。



ルマンの 92・91 年生まれの選手との集合写真、トレーニングマッチの様子